

2 - 2 宮城県およびその周辺域の最近の地震活動について

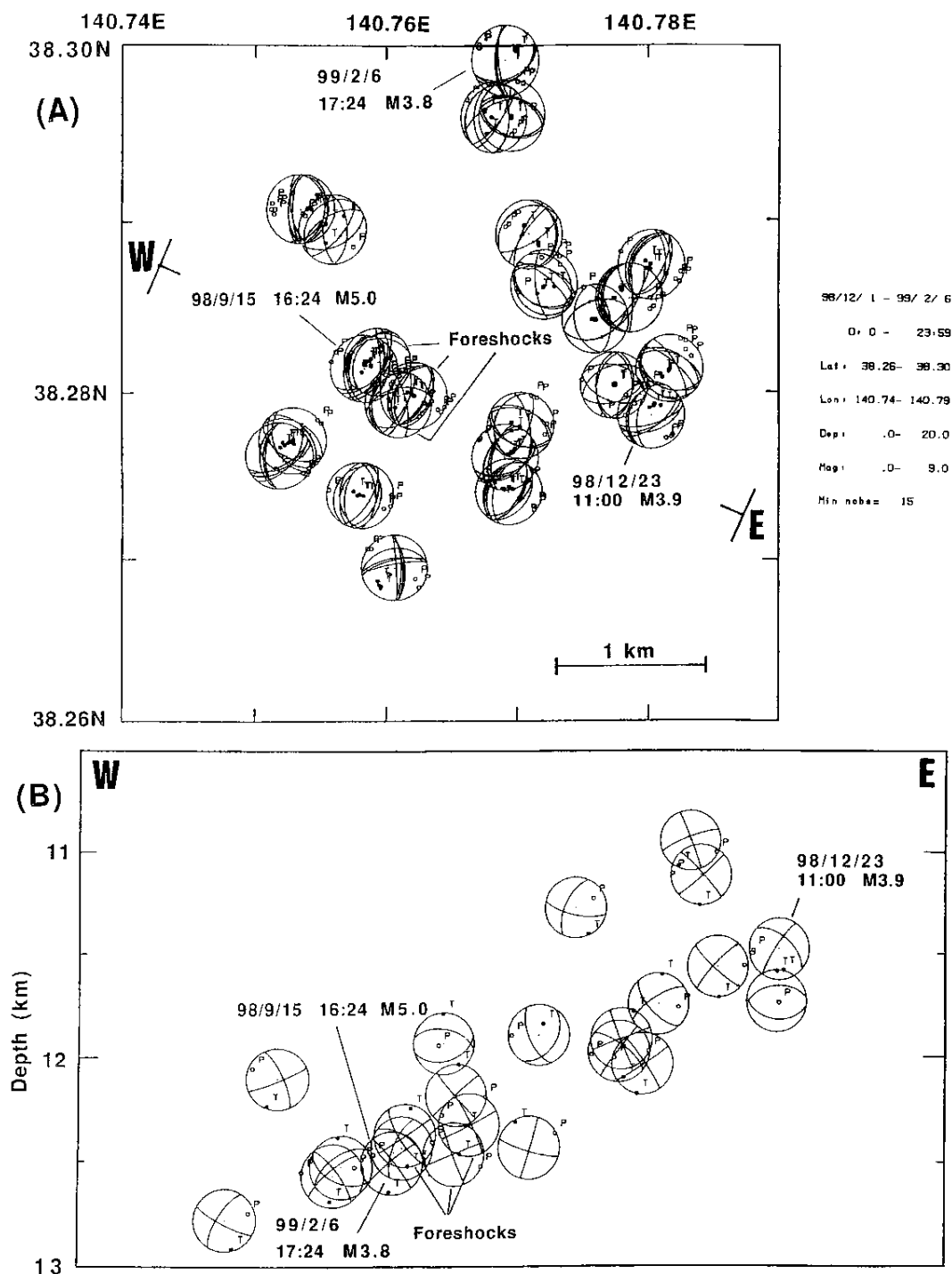
Recent Seismicity in and around Miyagi Prefecture

東北大学大学院理学研究科
Graduate School of Science, Tohoku University

1998 年 9 月 15 日に仙台市愛子付近で発生した M5.0 の地震の余震活動は、その後も続いている。1999 年 2 月 6 日までに発生した余震のメカニズム解の空間分布を、前震および本震のそれとともに第 1 図に示す。

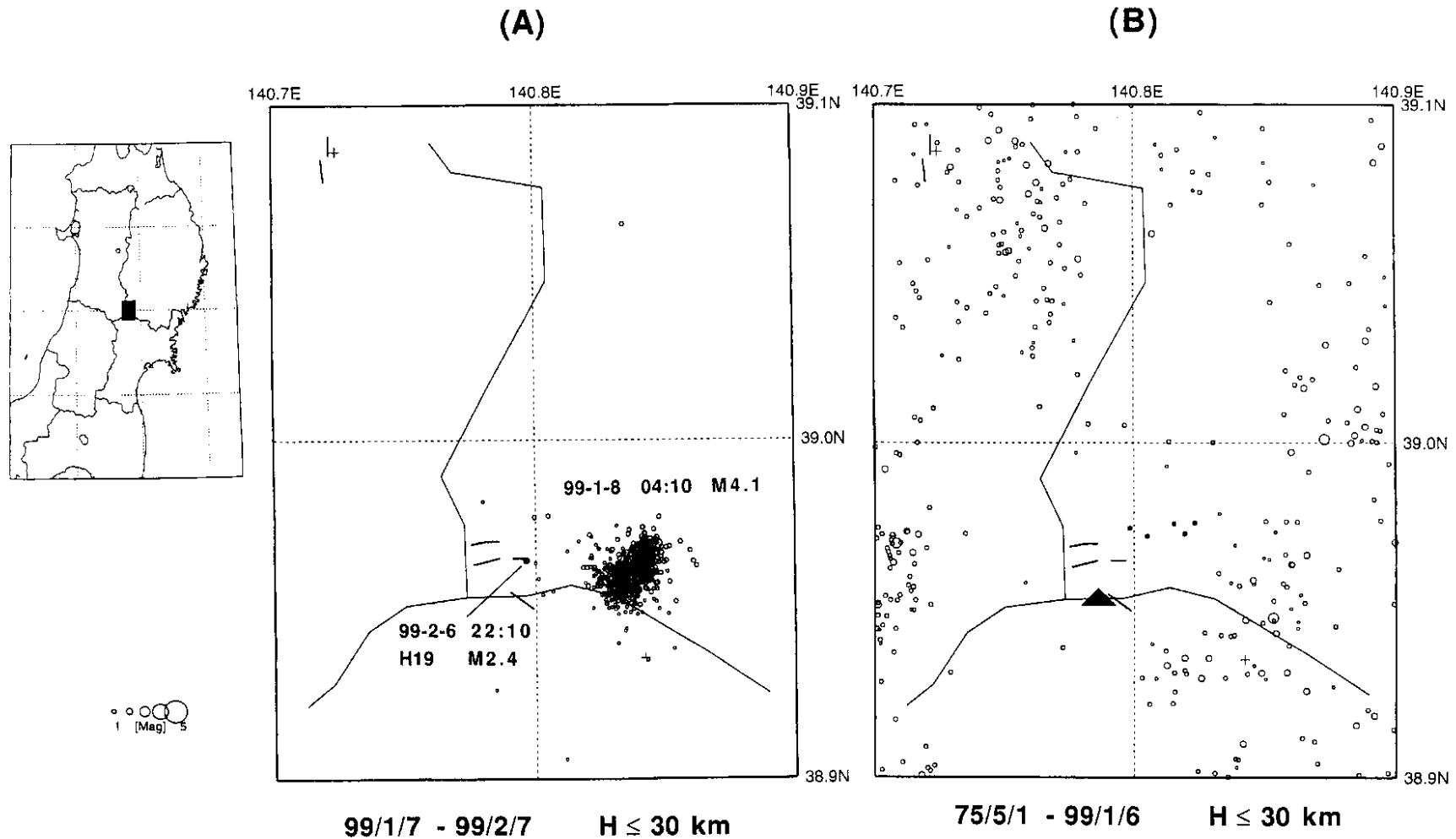
1999 年 1 月 8 日に栗駒山の東麓で M4.1 の地震が発生した。この地震活動の震央分布を第 2 図に示す。均一観測点法で再決定した地震の震源分布を、本震のメカニズム解とともに第 3 図に示す。余震分布から、北西～南東方向の断層面が推定される。

宮城県およびその周辺の最近の地震活動について



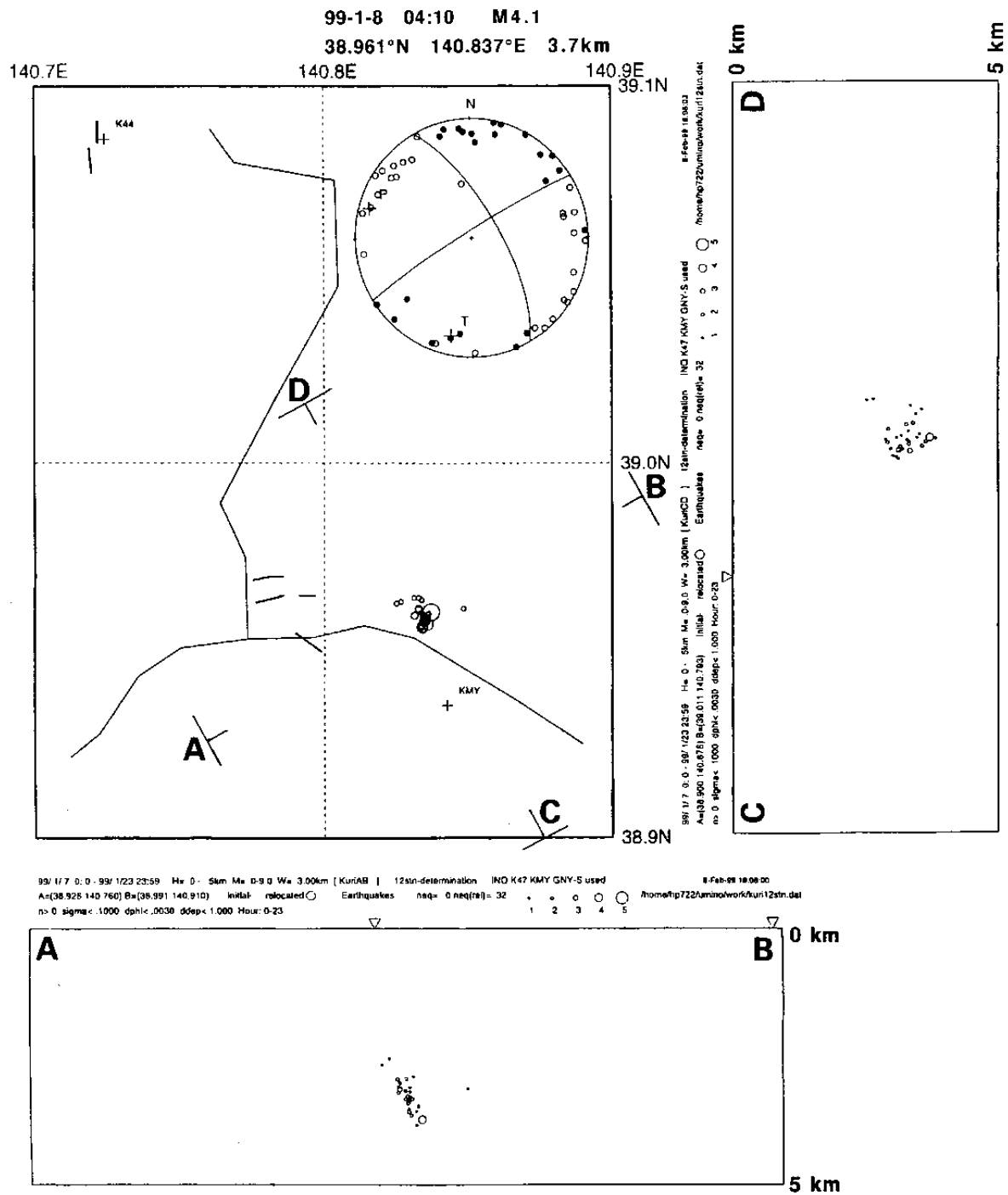
第 1 図 前震・本震・余震のメカニズム解の空間分布。(A)平面分布・15 点以上の P 波初動の押し引き分布から求めたメカニズム解のうち、エラーの少ない解から順に 4 個の階を重ねて示す(下半球等積投影)(B)深さ分布 図(A)の WE の位置の断面に最良解のみを投影して示す。紙面の向こう側の半球に投影した。

Fig.1 Focal mechanisms of the foreshocks, main shock and aftershocks of M5.0 earthquake in Sendai city. (A) Most reliable 4 focal mechanisms of each event are shown by an equal area projection on the lower focal hemisphere. (B) The best focal mechanism is shown by the equal area projection on the wall-side hemisphere.



第2図 栗駒山付近の地震活動 . (A)1999 年 1 月 7 日～2 月 7 日の震央分布 (1 月 26 日～2 月 7 日は自動処理による). (B)1975 年 5 月 1 日～1999 年 1 月 6 日の震央分布 . 低周波微小地震を ● 印で示す . ▲ 印は栗駒山の位置を示す .

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes near Mt. Kurikoma. (A) Epicenter distribution of shallow earthquakes from January 7 to February 7, 1999. (B) Epicenter distribution of earthquakes from May 1, 1975 to January 6, 1999. Solid circles and solid triangle denote locations of low-frequency microearthquakes and Mt. Kurikoma, respectively.



第3図 均一観測点法で再決定した栗駒山付近の地震の震源分布と最大地震のメカニズム解（下半球等積投影）。12観測点のP波走時と4観測点のS波走時を用いた。

Fig.3 Distribution of shallow earthquakes near Mt. Kurikoma and focal mechanism of the main shock. Locations of earthquakes are determined by a homogeneous station method.